

選者紹介



染野 太郎（そめの たろう）「まひる野」編集委員 「外出」^{がいしゅつ}「西瓜」^{すいか}同人
昭和五十二年茨城生
歌集『あの日の海』『人魚』『初恋』『恋のすべて』（くどうれいんとの共著）
きみはぼくのことばも呼吸^{いき}も奪うのにさびしさに指^さいっぽん触れず



カン ハンナ（かん はんな）
昭和五十六年韓国ソウル生
「NHK短歌テキスト」#短歌写真部選者
歌集『まだまだです』
家族とは離れていても繋が^つりて韓国語でも家族は家族^{カジヨク}



花山多佳子（はなやま たかこ）「塔」^{とう} 選者
昭和二十三年東京生

「河北歌壇」選者、NHK学園「短歌友の会」選者
歌集『空合』『木香薔薇』『胡瓜草』『鳥影』『三本のやまぼふし』など
歌書『森岡貞香の秀歌』

深き霧の白ひというに太極拳する人らしきがかすかにうごく



東直子（ひがし なおこ）「かばん」会員

昭和三十八年広島生

「東京歌壇」選者

歌集『春原さんのリコーダー』『青卵』

歌書『短歌の時間』『現代短歌版百人一首 花々は色あせるのね』

小説『とりつくしま』『フランネルの紐』、エッセイ集『一緒に生きる』『魚を抱いて』

折り畳み傘をふたたび折り畳み火にくべられた枝々思う

全作品の名前を伏せて、全選者にそれぞれ特選・秀作・佳作作品を選んでいただきました。